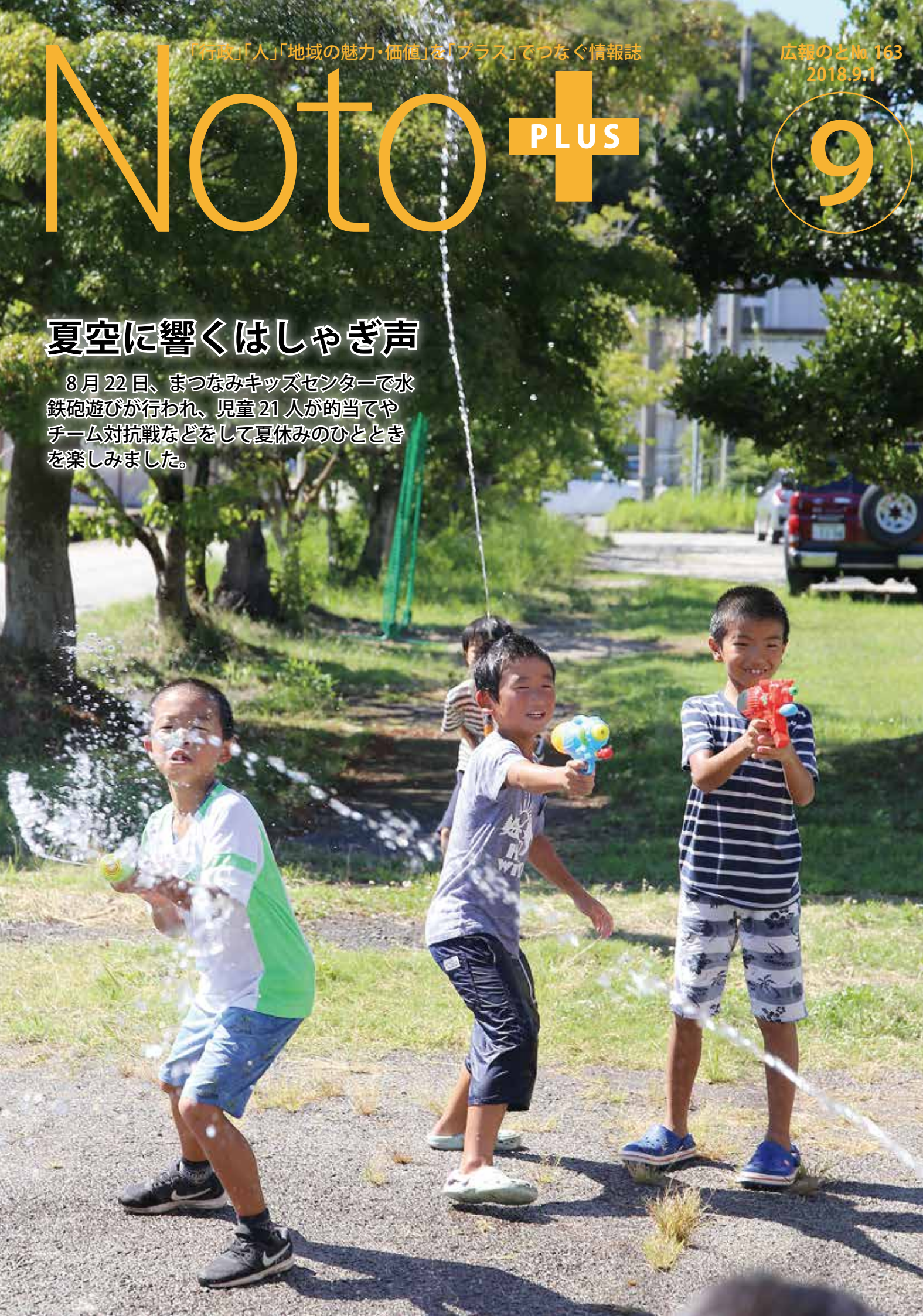




夏空に響くはしゃぎ声

8月22日、まつなみキッズセンターで水鉄砲遊びが行われ、児童21人が的当てやチーム対抗戦などをして夏休みのひとときを楽しみました。



能登の伝統に触れ 地域と祭りを盛り上げる

矢波諏訪祭に県内学生19人が参加

キリコは浜出組、中組、寺田組、町出組、弁天組の五基。学生は5組に分かれて担いだ



キリコの力比べ。高揚感と緊張感が張り詰める



初日の夜間巡行。揃いの赤色の法被を着てキリコを担ぐ学生ら

8月15、16日の両日にわたり矢波地区で開催された「矢波諏訪祭」に、能登キャンパス構想の「祭りの環」インターンシップに参加する大学生19人が訪れました。

「能登キャンパス構想」は、大学がない奥能登地域を一つのキャンパスに見立てて学びを提供し、地域の活性化を図る取り組みです。このうち「祭りの環」インターンシップは、担い手が減少する祭りに大学生が参加して祭りを支えるとともに、伝統行事の理解を深めることを目的に行われている事業です。矢波地区の大学生受け入れは6年目を迎えます。



参加した学生は大学や学年が異なる。初めに矢波集会所で自己紹介や学生の組分けが行われた

矢波諏訪祭の特徴は三基のキリコを結び押し合う「力比べ」。他のキリコ祭りへの参加経験がある金沢星稜大学4年の中西慶伍さんは「キリコ同士が接し、担ぎ手が顔を合わせる迫力は他とは違う」と話し、能登の各地にある様々な特色を持つキリコ祭りの一端を体感した様子でした。

3年連続で訪れたという金沢星稜大学4年の津田拳輔さんは「矢波の方が覚えていてくれてうれしかった」と語り、人や地域とのつながりを生む祭りの魅力を述べました。

復活 宇出津灯りフェスティバル

一昨年まで10年間開催されてきた「宇出津灯りフェスティバル」。地域の皆さんの応援を受け復活します。

地域に灯りを私たちの手で…。思いを共に、4団体が展示、町商工会と宇出津公民館が取り組みをサポートします。

宇出津歩行者天国と同時開催。心暖まる灯り作品を是非ご覧ください。

日時 9月9日① 17:30点灯(21:00頃まで)

会場 〇いやさか広場：鳳遊海、興能信用金庫

〇宇出津小学校グラウンド：宇出津小学校PTA

〇音羽町地内：音羽町内会

☎宇出津公民館 ☎62-3458

